わたしたちの

働きかた 2022

働き方改革通信 **令和4年5月25日**

発行:長野県教育委員会 (義務教育課)

自校の課題を 解決する 始めの一歩

~R4 改訂版 働き方改革事例集には"ヒ・ン・ト"が満載~

本事例集には、各校や地域の実情に応じた業務改善に役立つ実例が、全国から寄せられています。その数、200以上!新年度スタート後の少し落ち着いた今だからこそ、関心の高い項目からご覧いただき、自校の課題解決、働き方改革推進にご活用ください。



【自校の課題】例:学級担任の業務負担削減やチームでの生徒指導体制の構築

ステップ1

事例集の検索

令和4年

改訂版

文部科学省

Q

検索

※3ワードで楽々アクセス

テ ップ **項目(**

項目の選択

具体的に改善したい 業務がある方へ

【業務ごとの取組】

支援スタッフの募集・活用に お困りの方へ

【外部人材の募集・活用】

やりとり・調査 予定管理

【ICT の活用】

執務に使える時間が 少なくてお困りの方へ

【執務時間の創出】

一部の教職員に負担が偏った ことを解消したい方へ

【業務分担見直し】

【インタビュー リスト】

一部の教科は

ステップ。

ヒントを探る

学年担任制+教科担任の導入

3 年生以上で、学年 2 クラスを 2 人で一緒に担任する学年担任制を導入されたという 埼玉県所沢市立柳瀬小学校にお話を伺いました。



A. 「チーム学校」として組織的に対応していこうというなかで出てきたアイラーです。 本校は 2 クラスしかないため、2 人の担任で組んで、<u>HR は交代で行い、理科は A 先生が両方のクラスを担当、</u> 社会は B 先生が両方のクラスを担当という形で行っています。

また、一部の教科に関しては<u>単元ごとに担当を変えたり</u>しています。例えば、国語のAという教材に関しては A 先生

ステップ4

熟議を重ねる



VIEW

学年担任制と教科担任 制を組合せる発想はな かった。より多面的に 子供を見られそう 子供も固定クラスでは なく、入れ替えを行い 「学年クラス」の意識 を高めてはどうだろう



来年度以降

ステップ5

実践・検証

職員間のコミュニケー ションが頻繁になり、若 い先生の指導力が向上し ていくなど・・・



最初は心配したが、多様な友と 関わることで、子供たちは考え や行動の幅を広げ・・・

本年度も、働き方改革推進に関わる好事例や最新情報等を発信していきます。 各学校・教育委員会において、掲示・回覧等、ご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

学校における働き方改革推進のための方策(概要版)

長野県教育委員会

1 目 的

○質的な視点

- ・心身の健康を保ちながら、生き生きとやりがいを感じて豊かな教職生活を送る
- ・教職員としての専門性や創造性を高め、子どもたちへの質の高い教育を実現
- ○量的な視点
- ・時間外在校等時間の縮減(原則年360時間以内及び月45時間以内)

2 方 策 ※ワーク・エンゲイジメント: 仕事に誇りを持ち、仕事にエネルギーを注ぎ、仕事から活力を得て活き活きしている状態 (1) 学校業務の協業化・分業化・ (2) 家庭・地域・関係機関・企業 (3) ワーク・エンゲイジメント の高い職場づくりとワーク 等との連携・協働体制の構築 外部化・システム化による 業務の削減 ライフ・バランスの実現 1)学校単位の働き方改革推進 1/バランスの取れた学校生活・ 1 信州型コミュニティスクール 家庭生活 · 効果的活用促進 重点的に取り組む期間や自校の取 組の成果や課題を振り返る期間の ・「長野県中学生期のスポーツ活 4 校内外の会議や研修会等 動能計が「長野県中学校の文 ②学校・保護者・地域間の迅速、た課外流底 ・短縮、効率化、オンラインツール 化部活動方針」の基準に沿っ の効果的活用 た課外活動や部活動等の運営 各学校の取組 6 行事や日常業務 ・連絡手段のデジタル化推進 ・精選や見直しの推進 ②メンタルヘルス対策の充実 ③学校事務職員の学校経営参画 ・学校における労働安全衛生管 ⑦学校・家庭・地域等の役割 ・主体的、創造的な参画の推進 理体制の整備 ・分担見直しや関係の再構築 В ② 統合型校務支援システム ③学校事務職員の学校経営参画 ②メンタルヘルス対策の充実 ・教育事務に関わる教育委員会と学 ・検討、導入 ・学校における労働安全衛生管 市町村教育委員会の取組 校の連携体制構築 理体制の整備 ⑤ 地域スポーツ・文化環境整備 ③保護者の利便性向上や教職員 4 働きやすい職場環境整備 の業務負担軽減 ・年齢や学校区の枠を超えて練習 ・在宅勤務や時差勤務、1年単位 ・学校徴収金(給食費や学年費等) 等を行うことができる活動拠点 の変形労働時間制等、多様な 会計業務の負担軽減 の構築 働き方についての研究 ② 統合型校務支援システム 1学校単位の働き方改革推進 ①バランスの取れた学校生活・ 5地域スポーツ・文化環境整備 家庭生活 ・サポート体制の充実 ・導入により業務量が縮減した ・好事例の周知、広報 ・児童生徒・保護者・地域への 好事例の周知、広報 理解を促す周知・広報 ③学校事務職員の学校経営参画 健康で生き生きとやりがい 4 校内外の会議や研修会等 C を実感する教職生活の創造 ・オンライン開催による移動、開 ・事務職員の資質・能力や意欲を高 催時間の短縮 める体系的な研修制度整備 ・必要な調査実施、好事例の周知

長野県教育委員会の取組

⑤専門的観点に基づく対応支援

・専門スタッフの拡充、連携推進

⑥行事や日常業務

・精選や見直しに関する好事例の 周知、広報

8 教科指導の高度化や学校の ICT環境

・「1人1台端末」の効果的な活用 の研究や環境整備

4 学校における働き方改革に関す る理解促進

家庭・地域・関係機関・企業等に対 する広報活動や研修会等の実施

⑥民間企業等の学校教育活動や PTA活動への参加促進

・ 学校支援認証制度や学校応援企業 の登録等の条件整備

等によるワーク・エンゲイジ メントの高い職場づくり推進

4 働きやすい職場環境整備

・在宅勤務や時差勤務、1年単位 の変形労働時間制等、多様な 働き方についての研究

⑤学び続ける教職員支援

キャリアステージに応じた専 門性とキャリア形成を重視し た研修の実施

長野県教育委員会事務局 義務教育課管理係

(課長) 加藤 浩 (担当) 千葉 富夫

電 話 026-235-7426 (直通)

FAX 026-235-7494

電子メール gimukyo@pref.nagano.lg.jp